2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上場会社名　　株式会社ゴールドウイン　　上場取引所　東
コード番号　　8111　　ＵＲＬ　https://www.goldwin.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長CEO　　（氏名）渡辺　貴生
問合せ先責任者　（役職名）取締役副社長執行役員CFO　（氏名）白崎　道雄　　ＴＥＬ　03-6777-9378
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月１日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	56,094	0.9	4,756	△31.7	7,691	△15.4	5,510	△18.9
2026年３月期中間期	55,589	4.2	6,959	33.5	9,093	△8.3	6,798	△13.6

（注）包括利益　2027年３月期中間期　5,504百万円（△18.2%）　2026年３月期中間期　6,732百万円（△29.1%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	40.28	―
2026年３月期中間期	49.56	―

※2025年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき３株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり中間純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	167,385	132,372	78.3
2026年３月期	168,227	130,499	76.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　131,106百万円　2026年３月期　129,407百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	87.00	―	29.00	―
2027年３月期	―	35.00			
2027年３月期（予想）			―	35.00	70.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
２．2026年３月期の中間配当金87円には、創業75周年記念配当10円が含まれています。
３．2025年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき３株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、2026年３月期の１株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「－」として記載しております。2026年３月期の期末配当金を仮に当該株式分割前に換算しますと87円、年間配当金合計は174円となります。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,500	2.9	23,800	△8.0	32,500	△4.1	24,300	0.9	177.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　-社　（社名）ー、除外　-社　（社名）ー

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	142,344,516株	2026年３月期	142,344,516株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	5,475,266株	2026年３月期	5,575,185株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	136,803,549株	2026年３月期中間期	137,164,107株

※2025年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき３株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境に改善の動きがみられ、個人消費も持ち直しの動きを示すなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、物価の上昇が続くなか、中東情勢や自然災害の影響に加え、金融資本市場の変動など、先行きは不透明な状況が続きました。

衣料品販売におきましては、台風や集中豪雨による一部店舗の臨時休業・休館、９月の東京都心における長雨など、天候要因が来店客数と季節商品の需要を大きく左右いたしました。また、前年に大阪・関西万博の開催で押し上げられたインバウンド需要は一巡したことで、伸び悩みました。９月中旬以降は気温の低下に伴い、薄手のアウターやスウェットなどが好調に推移しました。

このような環境下において、当社グループは、THE NORTH FACEを中心に気候変動に対応したオールウエザー型商品の販売強化に取り組むとともに、直営店の新規出店・改装及びポップアップストアの展開により顧客接点の拡大を図りました。この結果、直営店及び自社ECの売上高は前年同期を上回りました。一方、卸売では、前期末に納品を前倒しした反動に加え、スポーツ量販店を中心とする取引先の店頭在庫の消化が前年を下回ったことで買取型の受注が減少し、売上高は前年同期を下回りました。特に８月は、天候不順やインバウンド需要の鈍化に加え、店頭における秋物需要の立ち上がりの遅れや一部商品の納期ずれが重なり、販売は伸び悩みました。

主力ブランドのTHE NORTH FACEは、マウンテンライトジャケットやクライムライトジャケット等のレインウエア、フラッシュドライ関連の機能性商品、ベビー向けのシェルブランケットなどが好調に推移した一方、Tシャツ・カットソー等の軽衣料や定番ロゴ商品が伸び悩み、卸売先の受注減少と一部商品の納期ずれも重なったことから、前年同期に比べ減収となりました。Goldwinブランドは、８月下旬以降のコレクションシリーズにおいて商品・売場・接客の連動を強め、主要直営店（丸の内・原宿・京都）及び自社ECを中心に、堅調に推移いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、前年同期比0.9%増の56,094百万円となりました。売上総利益は前年同期比3.7%増の29,600百万円となり、売上総利益率は、値引き販売の増加や在庫評価損の計上があったものの、利益率の高い直営店及び自社ECの売上構成比が高まったことにより、前年同期比1.4ポイント上昇の52.8%となりました。販売費及び一般管理費は、新規出店・改装に伴う人件費及び地代家賃、物流費、販売促進費の増加等により、前年同期比15.0%増の24,843百万円となりました。この結果、営業利益は前年同期比31.7%減の4,756百万円となりました。

営業外損益では、持分法適用関連会社であるYOUNGONE OUTDOOR Corporationの業績等を反映し、持分法による投資利益は前年同期比718百万円増の2,794百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比15.4%減の7,691百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比18.9%減の5,510百万円となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産合計は167,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ842百万円減少しました。これは主に、商品及び製品の増加3,535百万円、仕掛品の増加1,103百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加1,169百万円があったものの、現金及び預金の減少5,774百万円、電子記録債権の減少2,685百万円があったためであります。

負債合計は、35,013百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,715百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加2,991百万円があったものの、電子記録債務の減少4,230百万円、未払法人税等の減少336百万円があったためであります。

純資産合計は、132,372百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,872百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定の減少1,223百万円があったものの、利益剰余金の増加1,532百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,294百万円があったためであります。その結果、自己資本比率は78.3%となっております。

（キャッシュ・フローの状況に関する分析）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は45,181百万円となり、前連結会計年度末より5,774百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得したキャッシュ・フローは697百万円（前年同期比968百万円の収入減）となりました。主な要因は、棚卸資産の増加4,665百万円、持分法による投資利益2,794百万円および法人税及び住民税の支払2,477百万円があったものの、税金等調整前中間純利益7,584百万円および利息及び配当金の受取額4,342百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは2,326百万円（前年同期比7,821百万円の支出減）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出2,053百万円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは4,280百万円（前年同期比2,030百万円の支出減）となりました。これは主に、配当金の支払3,978百万円があったためであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、2026年５月13日に公表し、同年８月６日に据え置いた予想を修正いたしました。

８月６日時点では、第１四半期の下振れは一時的なものと見込んでおりましたが、８月以降も天候不順やインバウンド需要の鈍化に加え、店頭における秋物需要の立ち上がりの遅れや一部商品の納期ずれが重なり、上期の業績は期初の計画を下回りました。

このため、上期の期初計画に対する未達分を通期予想から減額し、下期は期初の計画を据え置いております。この結果、通期連結業績予想は、売上高141,500百万円（前回予想比2.7％減）、営業利益23,800百万円（同8.8％減）、経常利益32,500百万円（同4.7％減）、親会社株主に帰属する当期純利益24,300百万円（同5.1％減）といたします。なお、配当予想は、１株当たり年間70円（中間35円、期末35円）を据え置いております。

下期は、秋冬の重衣料及び機能性商品を軸とした直営店の販売促進、店頭消化を伴う卸売の出荷、継続品を中心とした仕入の抑制による期末在庫の圧縮、経費執行の見直しにより、計画の達成を目指します。また、THE NORTH FACEにおける10月からの60周年企画、Goldwinブランドにおける銀座・福岡等での新規出店を通じて、顧客基盤の拡大を継続いたします。

中期経営計画につきましては、現在、点検を進めております。点検の結果及び資本配分の方針につきましては、改めて開示いたします。

今後、秋冬商戦の進捗を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,497	52,723
受取手形、売掛金及び契約資産	16,322	17,492
電子記録債権	6,281	3,595
商品及び製品	18,629	22,164
仕掛品	233	1,337
原材料及び貯蔵品	878	923
その他	2,083	2,683
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	102,923	100,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,451	2,436
土地	4,679	4,679
その他（純額）	9,177	10,729
有形固定資産合計	16,308	17,845
無形固定資産		
商標権	349	200
のれん	144	136
その他	2,670	2,779
無形固定資産合計	3,164	3,116
投資その他の資産		
投資有価証券	35,436	34,620
差入保証金	3,202	3,420
その他	7,281	7,564
貸倒引当金	△88	△100
投資その他の資産合計	45,832	45,504
固定資産合計	65,304	66,466
資産合計	168,227	167,385

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,627	7,619
電子記録債務	16,074	11,844
１年内返済予定の長期借入金	6	―
未払法人税等	2,212	1,875
賞与引当金	882	729
役員賞与引当金	114	42
その他	8,408	7,100
流動負債合計	32,326	29,212
固定負債		
長期借入金	1,063	869
株式報酬引当金	69	120
退職給付に係る負債	201	203
その他	4,067	4,608
固定負債合計	5,402	5,801
負債合計	37,728	35,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,079	7,079
資本剰余金	1,581	1,577
利益剰余金	128,016	129,548
自己株式	△14,426	△14,182
株主資本合計	122,251	124,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,862	5,156
繰延ヘッジ損益	126	9
為替換算調整勘定	2,357	1,133
退職給付に係る調整累計額	810	784
その他の包括利益累計額合計	7,156	7,083
非支配株主持分	1,091	1,265
純資産合計	130,499	132,372
負債純資産合計	168,227	167,385

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	55,589	56,094
売上原価	27,035	26,494
売上総利益	28,554	29,600
販売費及び一般管理費	21,594	24,843
営業利益	6,959	4,756
営業外収益		
受取利息	29	43
受取配当金	50	90
持分法による投資利益	2,075	2,794
その他	60	113
営業外収益合計	2,217	3,042
営業外費用		
支払利息	31	32
為替差損	1	6
保険解約損	8	24
解約違約金	17	22
その他	25	21
営業外費用合計	83	107
経常利益	9,093	7,691
特別利益		
有形固定資産売却益	－	2
投資有価証券売却益	142	－
特別利益合計	142	2
特別損失		
固定資産処分損	12	2
減損損失	－	10
リース解約損	－	19
店舗閉鎖損失	0	62
事業撤退損	－	14
その他	－	0
特別損失合計	13	108
税金等調整前中間純利益	9,223	7,584
法人税、住民税及び事業税	804	2,069
法人税等調整額	1,603	△62
法人税等合計	2,407	2,006
中間純利益	6,815	5,577
非支配株主に帰属する中間純利益	16	66
親会社株主に帰属する中間純利益	6,798	5,510

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	6,815	5,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	687	1,294
繰延ヘッジ損益	21	△117
為替換算調整勘定	△155	113
退職給付に係る調整額	48	△26
持分法適用会社に対する持分相当額	△684	△1,336
その他の包括利益合計	△82	△73
中間包括利益	6,732	5,504
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	6,715	5,437
非支配株主に係る中間包括利益	16	66

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,223	7,584
減価償却費	1,101	868
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△145	△157
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	3	2
株式給付引当金の増減額（△は減少）	△4,993	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	10
受取利息及び受取配当金	△80	△134
支払利息	31	32
持分法による投資損益（△は益）	△2,075	△2,794
固定資産処分損益（△は益）	11	2
売上債権の増減額（△は増加）	△1,161	1,527
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,627	△4,665
仕入債務の増減額（△は減少）	△110	△1,254
未収入金の増減額（△は増加）	91	△520
未払金の増減額（△は減少）	△624	△959
未払消費税等の増減額（△は減少）	△438	△257
前払費用の増減額（△は増加）	42	△265
その他	3,674	△153
小計	1,920	△1,134
利息及び配当金の受取額	1,786	4,342
利息の支払額	△31	△32
法人税等の支払額	△2,009	△2,477
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,666	697
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,320	△7,340
定期預金の払戻による収入	320	7,340
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,082	△2,053
投資有価証券の取得による支出	△109	△52
投資有価証券の売却による収入	188	－
差入保証金の差入による支出	△315	△423
差入保証金の回収による収入	42	167
新規連結子会社の取得による収入	255	－
その他	△125	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,147	△2,326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の借入による収入	1,217	－
長期借入金の返済による支出	△407	△201
リース債務の返済による支出	△333	△378
自己株式の取得による支出	△1,217	△0
配当金の支払額	△5,661	△3,978
その他	91	278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,310	△4,280
現金及び現金同等物に係る換算差額	△105	134
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△14,897	△5,774
現金及び現金同等物の期首残高	51,985	50,956
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△201	－
現金及び現金同等物の中間期末残高	36,886	45,181

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）および当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至 2026年９月30日）

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。